

国語科学習指導案

日 時 令和7年2月27日3校時
対 象 谷山中学校2年6組38名
指導者 教 諭 渡 辺 治

1 単元名・学習材 ミニ美術館を作ろう

(「魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く」光村図書 国語2)

2 単元設定の理由

(1) 単元観

本単元では、学習材「魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く」を「ミニ美術館を作ろう」という単元として設定した。評論文「君は「最後の晚餐」を知っているか」、解説文「「最後の晚餐」の新しさ」での読むことの学習を終えたあとの書くことの学習である。絵画「最後の晚餐」に関する二つの文章を読んだ生徒は、絵画の魅力を具体的に考えながら鑑賞するおもしろさを感じているはずである。

その学習をふまえて、本単元では実際に自分自身で一つの絵画を選び、その絵画を分析しながら自分なりの鑑賞文を書かせることとする。最終的な作品は、ロイロノートを使って提出させ相互鑑賞をさせるが、画面にそれぞれが選んだ絵画と鑑賞文が並んだ様子は、あたかも小さな美術館が画面上に出現したように感じられ、生徒に達成感も味わわせることができるものとする。

(2) 生徒観

本学級には、明るく活発で何事にも積極的に取り組もうとする生徒が多い。授業にも意欲的に参加し、積極的に学習活動に参加したり、自分の思いや考えを発信したりする姿が見られる。一方で、深く考えたり相手を意識したりすることなく発言する生徒や、周りとのコミュニケーションを苦手とし自分一人の考えをもって納得するような生徒も少なからず見られる。

4月に実施したNRTにおいては、学級の国語の偏差値平均は48.5であり、「書くこと」の正答率は全国比92となっている。また、国語・数学・英語3教科でのアンダー・アチバーが16名である。普段の様子からも、文章を書くことを苦手とする生徒、または書くことに慣れていない生徒が多くいることがうかがえる。

これらのことから、生徒の意欲を喚起しつつ、まずは二百字程度の文章を書いたり友達と交流したりしながら書くことへの抵抗感をなくしていくことは意義のあることだと考える。同時に、本単元を通して、単に指定された字数を満たすように書くだけでなく、目的や相手を意識して書く力を身に付けさせていきたい。

(3) 指導観

鑑賞文とは、その作品の魅力を具体的に語る文章である。「美しい」「カッコいい」と感じたとしても、何がどうすばらしいのか、なぜそう考えたのかを述べなければ、読み手には伝わらない。伝えたい魅力を明確にしたうえで、その魅力を伝えるためには何を取り上げて鑑賞文を書くのかについて検討・整理する必要がある。

ここでは、まず絵画の魅力を一文で考えさせる。その後、思考ツールを活用させながら、魅力の根拠となる具体的な特徴や、感じたこと・想像したことなどを列挙したうえで、二百字程度の鑑賞文にまとめさせる。その過程において、具体的な根拠をもとに、相手を意識しながら自分の感じた魅力を文章で表現する力を身に付けさせることができるものとする。

3 研究の視点

(1) 本校の研究テーマ「課題解決に向けて自ら学ぶ生徒の育成～「学習者主体の授業づくり」を通して～」について

ア 「自分で選ぶ場面」の設定について

本單元においては、生徒が課題解決に向けて主体的に学ぶことができるように、いくつかの自分で選ぶ場面を設定した。

- ① **課題の選択**：鑑賞文を書く絵画は、百枚程度の絵画（ポストカード）から一人一枚を選ばせるようにした。他者と同じ絵画について鑑賞文を書くことはないため、途中で相談することはあっても最終的には自分自身で鑑賞文を仕上げる必要があるとなり、他者任せの学習にとどまることを避けられると考えた。
- ② **道具の選択**：絵画を分析する際には、思考ツールを使用させるが、どの思考ツールを使用するかはそれぞれに選ばせる。本單元に限らずいくつかの單元において思考ツールを使用する場面を設定することで、試行錯誤しながら目的に応じた思考ツールの選択ができるようになることを考える。また、今回は基本的にタブレットを使っての学習とするが、手書きでの学習も可として、課題を解決するために自分にとって適当な道具（方法）を選ぶことができるように設定した。
- ③ **学習形態の選択**：学習の形態を一人で考えるか、ペア・グループで考えるか選択できるようにした。一人ではなかなか活動が進まない生徒には、友達と相談をしながら発想を広げたり深めたりしながら学習を進めさせたい。なお、一人で考えるかペアやグループで考えるかは、その活動の状況によって自由に選択できるようにさせる。いずれにしても、最終的な課題の解決は、個で行わせることにする。

イ 「学びを振り返る場面」の設定について

各単位時間ごとに「何ができるようになったのか」、「どうしてできたのか」などを振り返る場面を設定することも考えられる。しかし、本單元は、約3時間を通して「鑑賞文を書く」という一つの課題解決に向けて連続した活動の流れがあり、また、生徒一人一人学習を進める速度も異なるため、各単位時間に振り返る場面を設定するよりも、一連の活動を終えた段階で振り返りを行った方が効果的であると考えた。各単位時間の終末では自分の学習の進捗を確認する程度にとどめ、単元を通してどのような力を身に付けたかについては、単元の終末において振り返りをさせたい。

(2) 授業における生成AIの活用について

本單元においては、授業における生成AIの活用に試行的に取り組んでみたい。具体的には、生徒が二百字程度の鑑賞文の下書きを書いたあと、その評価を生成AIを使って行い、その評価をもとに清書を完成させるという方法を試みる。一人の教師が全ての生徒の下書きを評価・添削するにはかなりの時間と労力を要するが、そこを生成AIに委ねることによってどのような利点あるいは欠点が生じるのかを検証してみたい。

現在、生成AIには多くの種類があり、それぞれに特徴があるとされているが、ここでは校務用パソコンからアクセスしやすいMicrosoft Copilotを利用する。Microsoft Copilotを18歳未満が使用する場合は、「親権者または法的後見人の同意が必要」であり、文部科学省「初等中等教育段階における生成AIの利用に関するガイドライン」では「教師の適切な指導監督の下で利活用させる」ことが求められている。そこで、生徒に直接利用させるのではなく、あくまでも教師が利用したその結果を生徒に返す形で利用することとする。

4 単元 の 目 標

- (1) 抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 [知識・技能] (1)エ
- (2) 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わるように工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)ウ
- (3) 表現の工夫とその効果などについて、他者からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)オ
- (4) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の伝統文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向う力、人間性等」

5 単元 の 評 価 規 準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	<p>① 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>② 「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)</p>	進んで表現の効果を考えて描写し、今までの学習を生かして鑑賞文を書こうとしている。

6 単元 の 指 導 計 画 (全 5 時 間)

時	10	20	30	40	50
1	漢字(帯)	単元の学習の見通し		鑑賞文を書く絵画の選択 【課題の選択】	
2 (本時)	漢字(帯)	<pre> graph LR A[絵画の分析 【道具の選択】] --> B[鑑賞文の下書き・提出] B --> C[鑑賞文の完成・提出] C -.-> D[補充発展] subgraph AI [生成AIの活用] B end subgraph Learning [学習形態の選択] A B C end </pre>			
3	漢字(帯)				
4	漢字(帯)				
5	漢字(帯)	相互鑑賞	学習の振り返り 【学びを振り返る場面】	まとめ	
【評価場面・方法】					
知識・技能：主に、第4時までに完成した鑑賞文の内容から評価する。					
思・判・表：主に、下書きから清書への変容の様子や第5時の振り返りの内容から評価する。					
態 度：主に、第2～4時の学習への取組みの様子を評価する。					

7 本時の指導計画（2 / 5）

(1) 目標

思考ツールを活用しながら、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりしながら、絵画の魅力が伝わる文章を書いている。

(2) 本時の実際

時間	学習活動	指導にあたっての留意点・評価（★）
【帯单元】漢字・文法をマスターしよう。		
8 (8)	● 漢字小テストを行う。	○ 事前に指示を出してあった漢字の中から、書き取り5問の小テストを行う。 ○ 準備・復習の時間を3分間確保した後に小テストを行う。 ○ 自己採点を行わせ、間違った漢字を確認させる。
1 学習の見通しをもつ。		
10 (18)	● 本時の学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。	○ 黒板を活用し、鑑賞文完成までの流れを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 選んだ絵画の魅力が伝わるような鑑賞文を書こう。 </div>		
	● 生成A Iを使って、下書きを評価することを理解する。	○ 教科書の例文を用いて、生成A Iを使った評価について説明する。 ○ 生成A I使用上の注意点についても簡単に触れる。
2 学習の流れにしたがって、鑑賞文の完成をめざす。		
30 (48)	● 自分の計画に従って、次の流れで鑑賞文の完成に向けて取り組む。 (1) 絵画の分析をする。 (2) 鑑賞文の下書きをし、提出する。	○ 黒板と名前カードを使って、この時間の自分の学習予定と学習形態を確認させる。 【学習形態の選択】 ○ 学習形態については、自分の活動内容等によって、随時変更してもよいことを確認する。 ○ 絵画の分析をするにあたっては、自分で使いやすい、有効だと判断する思考ツールを使用させる。 【道具の選択】 ○ 思考ツールを使った分析、下書き・清書はタブレットもしくは手書きの自分の学習にふさわしい方を選択できるように準備する。 【道具の選択】 ○ 提出された下書きは、教師が生成A Iを使って評価し、生徒に返す。 【生成A Iの活用】

	<p>(3) 返ってきた下書きの評価をもとに鑑賞文の清書をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 可能であれば、早くできた生徒の下書きをもとに生成AIの評価の様子を途中で実際に見せたい。 ★ 進んで表現の効果を考えて描写し、今までの学習を生かして鑑賞文を書こうとしているか。〔態度〕 ○ 生成AIの評価は、あくまでも参考であり、最終的には自分の判断を重視するように伝える。 ★ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりしながら、絵画の魅力が伝わる文章を書いているか。〔思・判・表〕 ○ 清書の提出が早く終わった生徒には、四百字でまとめ直すか、もう一つの作品の鑑賞文を書くか、どちらかの発展的な課題を与える。
<p>3 本時の学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。</p>		
<p>2 (50)</p>	<p>● 本時の進展具合を確認し、次時の活動を考える。</p>	<p>○ 黒板の名前カードを移動させ、次時の活動内容と学習形態を確認させる。</p>

【資料1】ゴールのイメージ①

 <p>この作品の魅力は、美しい自然風景を写実的に描かれています。さらに遠近法により奥行きが感じられるように描かれています。そして、山は遠くにあるように描かれています。とても目を引く作品です。特に水面には風景が写り込んでおり、草木は高角度から見て少なくなっているように見えます。</p> <p>この絵はどのような風景を写実的に描かれていますか。目を惹く要素はありますか。</p> <p>2月5日(水) 14:24</p>	 <p>【ヴェネチア サン・マルコ広場】</p> <p>この作品の魅力は、色の使い方が素晴らしいです。一つ目は空と海の色の違いです。海は少し暗めの水色ですが、空の色はより明るい水色の色合いです。海の色が暗いのは雲が多く天気が曇りや雨が少し降っているように感じられます。二つ目は建物の高さや奥行がしっかりあることです。一つだけ高い建物があり、空や海を大きく書いて強調しているところから、建物を小さくして奥行を強調しているのかもしれない。</p> <p>2月5日(水) 14:29</p>	 <p>【フェルトの風景】</p> <p>この作品の魅力は、細かい部分まで描かれていることです。一つ目は、空の色が暗く、雲が重く垂れ下りてくるように描かれています。二つ目は、遠くの山が霧に包まれているように描かれています。三つ目は、橋のアーチが強調されているように描かれています。四つ目は、橋のアーチが強調されているように描かれています。</p> <p>2月5日(水) 14:32</p>	 <p>この作品の魅力は、一つ目の山が非常に高く描かれています。二つ目は、山の頂上から雪が降りてきているように描かれています。三つ目は、山の裾野が霧に包まれているように描かれています。四つ目は、山の裾野が霧に包まれているように描かれています。</p> <p>2月5日(水) 14:36</p>
 <p>『山と川の風景』 ロバート・ワット</p> <p>この作品の魅力は、リアリズムに描かれています。一つ目は、山と川の風景が写実的に描かれています。二つ目は、山の頂上から雪が降りてきているように描かれています。三つ目は、山の裾野が霧に包まれているように描かれています。四つ目は、山の裾野が霧に包まれているように描かれています。</p> <p>2月6日(木) 9:32</p>	<p><モナリザ> レオナルド・ダ・ヴィンチ</p> <p>この絵の魅力は、高さがあること。一つ目は、顔の部分が小さく描かれている。二つ目は、顔の部分が小さく描かれている。三つ目は、顔の部分が小さく描かれている。四つ目は、顔の部分が小さく描かれている。</p> <p>2月6日(木) 9:32</p>	 <p>『モナ・リザ』 レオナルド・ダ・ヴィンチ</p> <p>この作品の魅力は、モナリザの表情が神秘的に描かれています。一つ目は、モナリザの表情が神秘的に描かれています。二つ目は、モナリザの表情が神秘的に描かれています。三つ目は、モナリザの表情が神秘的に描かれています。四つ目は、モナリザの表情が神秘的に描かれています。</p> <p>2月6日(木) 9:37</p>	<p>『モナ・リザ』 レオナルド・ダ・ヴィンチ</p> <p>この作品の魅力は、モナリザの表情が神秘的に描かれています。一つ目は、モナリザの表情が神秘的に描かれています。二つ目は、モナリザの表情が神秘的に描かれています。三つ目は、モナリザの表情が神秘的に描かれています。四つ目は、モナリザの表情が神秘的に描かれています。</p> <p>2月7日(金) 14:21</p>
 <p>『カティーク』 モンテギュー・ド・トーン</p> <p>この作品の魅力は、帆船と波の動きが描かれています。一つ目は、帆船の動きが描かれています。二つ目は、帆船の動きが描かれています。三つ目は、帆船の動きが描かれています。四つ目は、帆船の動きが描かれています。</p> <p>2月7日(金) 14:24</p>	<p>『カティーク』 モンテギュー・ド・トーン</p> <p>この作品の魅力は、帆船と波の動きが描かれています。一つ目は、帆船の動きが描かれています。二つ目は、帆船の動きが描かれています。三つ目は、帆船の動きが描かれています。四つ目は、帆船の動きが描かれています。</p> <p>2月7日(金) 14:24</p>	 <p>『ジヴェルニーの日本の橋』 クロード・モネ(1840-1926)</p> <p>この作品の魅力は、日本の橋が描かれています。一つ目は、日本の橋が描かれています。二つ目は、日本の橋が描かれています。三つ目は、日本の橋が描かれています。四つ目は、日本の橋が描かれています。</p> <p>2月7日(金) 14:23</p>	 <p>『芝増上寺の雪』 川瀬巴水</p> <p>この作品の魅力は、雪の風景が描かれています。一つ目は、雪の風景が描かれています。二つ目は、雪の風景が描かれています。三つ目は、雪の風景が描かれています。四つ目は、雪の風景が描かれています。</p> <p>2月7日(金) 14:45</p>

【資料2】ゴールのイメージ②



東京二十景 《芝増上寺》
川瀬巴水



風向きを雪で表現している

人の歩む方向は左向き

人の歩む方向は右向き

人の歩む方向は左向き

人の歩む方向は右向き

東京二十景 芝増上寺の魅力は、その風向きです。中央部下のほうに女性が傘をさしています。そのさしている方向を見ると右から左に風が吹いていることがわかります。他には芝増上寺の柱や手すりの部分を見ると右側を中心に雪が積っています。私はこれらの印象から、まるで自分自身が吹雪に打たれているような気がしました。絵に女性一人しか写っていないことからこの日は外に出るのをはばかるような大雪だったのではと思いました。

【資料3】生成AIに与えるプロンプト（本時では若干の修正を加える予定）

次の絵画の鑑賞文を、4つの観点からA・B・Cの3段階で評価してください。さらに、鑑賞文の優れているところを教えてください。また、鑑賞文として不足している点も教えてください。ただし、鑑賞文を書いたのは中学生で、鑑賞文を読むのも中学生です。

観点1 誤字や脱字はないか。

観点2 表現上の誤りや不適切な表現はないか。

観点3 絵画の魅力が具体的に伝わるような内容になっているか。

観点4 200字（180字～220字）程度の文章として適切か。

【資料4】生徒の下書きと生成AIによる評価の具体例

東京二十景 芝増上寺の魅力は、その風向きです。中央部下を見ると女性が傘をさしています。その傘の向いてる向きを見ると右から左に風が吹いていることがわかります。他にも柱や手すりを見ると右側にばかり雪がついていて左側にはほとんど雪がついていません。また、色使いに注目すると雪で遠くが見えなくなるようにわざと窓などが曖昧に描かれていることがわかります。このような分析から私は、まるで自分自身も吹雪に打たれているような錯覚を受けました。

観点1 誤字や脱字はないか

評価: A 理由: 誤字や脱字は見当たりません。

観点2 表現上の誤りや不適切な表現はないか

評価: B 理由: 「風向き」という表現が少し曖昧で、「風の向き」とした方が自然です。また、「見えずらく」は「見えづらく」が正しい表記です。

観点3 絵画の魅力が具体的に伝わるような内容になっているか

評価: A 理由: 絵画の具体的な要素(傘の向き、雪の付き方、色使い)を挙げて、その魅力を伝えています。

観点4 200字(180字~220字)程度の文章として適切か

評価: A 理由: 文章の長さは適切で、200字以内に収まっています。

優れているところ

絵画の具体的な要素に注目し、それを分析している点が優れています。

読者に対して絵画の魅力を具体的に伝える工夫がされています。

不足している点

「風向き」や「見えずらく」などの表現が少し不自然です。これらを修正すると、より読みやすくなります。

絵画全体の印象や感想をもう少し詳しく述べると、さらに深みのある鑑賞文になるでしょう。

全体として、非常に良く書かれた鑑賞文です。少しの修正でさらに良くなると思います。頑張ってくださいね!

「花と果実」

この絵の魅力は、写実的な絵であることです。

花瓶に飾られている花はどれも細かく描写されています。花びら一枚一枚がしっかりと描かれていて、どの花もまるで本物のように見えます。次に、コントラストがはっきりしているところです。この絵の中心である”花”と”果物”は明るい色を使っていて、背景は控えめな色を使っています。そうすることで、花や果物がより映えるように見えます。

この絵は、思わず「写真なのか、絵なのか?」とじっくり見入ってしまうような作品です。

観点1 誤字や脱字はないか

評価: A 理由: 誤字や脱字は見当たりません。

観点2 表現上の誤りや不適切な表現はないか

評価: A 理由: 表現上の誤りや不適切な表現は特に見当たりません。

観点3 絵画の魅力が具体的に伝わるような内容になっているか

評価: A 理由: 絵画の具体的な要素(花の描写、コントラストの使い方)を挙げて、その魅力をしっかりと伝えています。

観点4 200字(180字~220字)程度の文章として適切か

評価: A 理由: 文章の長さは適切で、200字以内に収まっています。

優れているところ

花や果物の描写の精密さやコントラストの使い方について具体的に述べている点が優れています。

読者に対して絵画の魅力を具体的に伝える工夫がされています。

「写真なのか、絵なのか?」とじっくり見入ってしまうという表現が、絵画のリアルさを強調していて良いです。

不足している点

全体的に非常に良く書かれていますが、もう少し絵画全体の印象や感想を詳しく述べると、さらに深みのある鑑賞文になるでしょう。例えば、絵を見たときの感情や、他の観察ポイントについても

触れると良いです。

全体として、非常に良く書かれた鑑賞文です。少しの修正でさらに良くなると思います。頑張ってくださいね！

この作品のの魅力は、日本の古き良き文化を静止画でも花火の迫力をすごく表現していて僕も参考にしたいと思った。

この画家の感性は僕に似てると思ったので親近感を感じました。

この作品を見ているとヒューーーーーーと花火の音が聞こえてきます。

観点1 誤字や脱字はないか

評価:B 理由:「この作品のの魅力は」の「のの」は「の」に修正が必要です。

観点2 表現上の誤りや不適切な表現はないか

評価:B 理由:「静止画でも花火の迫力をすごく表現していて僕も参考にしたいと思った。」の部分が少し冗長です。「静止画でも花火の迫力を見事に表現しており、僕も参考にしたいと思いました。」とするとより自然です。

観点3 絵画の魅力が具体的に伝わるような内容になっているか

評価:B 理由:花火の迫力や画家の感性について述べられていますが、具体的な描写や要素についての説明が不足しています。

観点4 200字(180字~220字)程度の文章として適切か

評価:B 理由:文章の長さは適切ですが、花火の音の表現が長すぎるため、全体のバランスが崩れています。

優れているところ

花火の迫力や画家の感性について述べている点が良いです。

花火の音を想像させる表現が、絵画の臨場感を伝えています。

不足している点

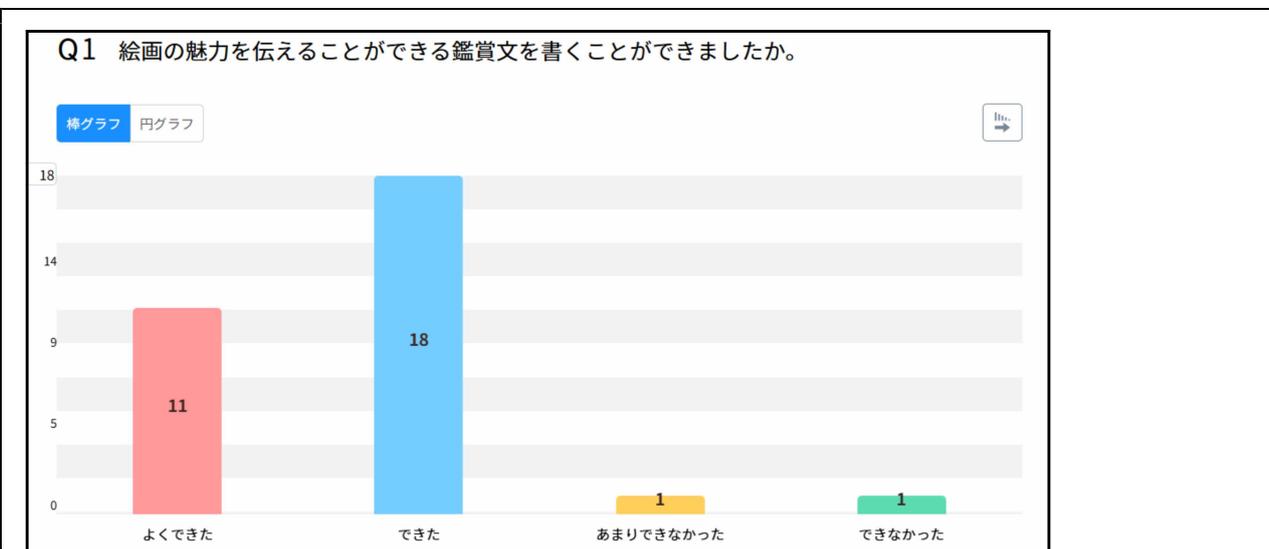
誤字や表現の修正が必要です。

花火の音の表現が長すぎるため、もう少し簡潔にすることで全体のバランスが良くなります。

絵画の具体的な要素(色使いや構図など)についてももう少し詳しく述べると、さらに良い鑑賞文になるでしょう。

全体として、良い鑑賞文ですが、少しの修正と具体性の追加でさらに良くなると思います。頑張ってくださいね！

【資料6】他クラスにおける振り返り(ロイロノートのアンケートを使用)の抜粋



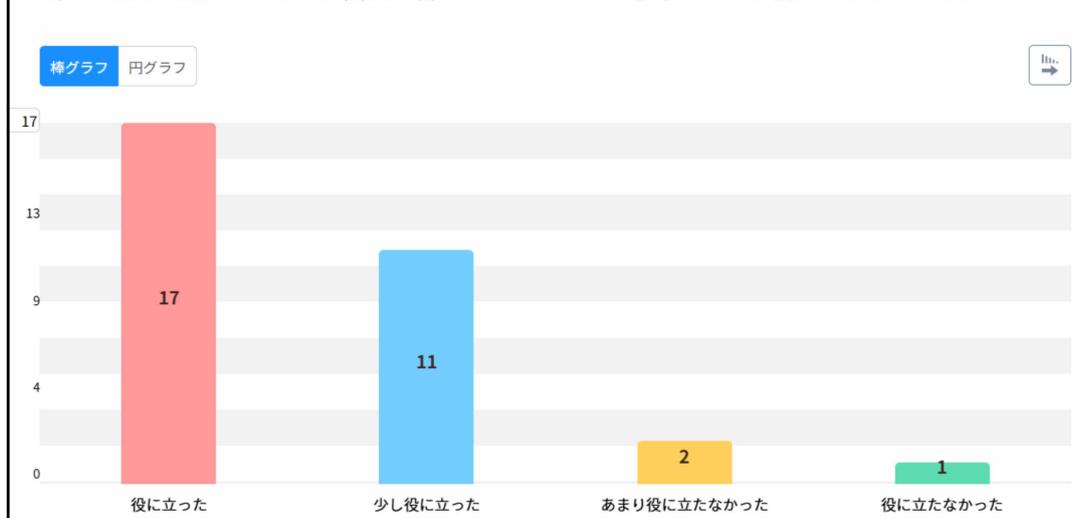
Q2 自分の鑑賞文でよくできたと思うところはどこですか。

- ・作品の具体的などころを評価できたところ。
- ・絵画の良さをしっかり伝えることができた。
- ・具体的に表すことができた。
- ・この絵画の魅力が伝えられたと思う。
- ・どんなところが魅力なのか、細かく書くことができた。
- ・隅々までしっかりとみて詳しく絵の魅力を伝えられたと思う。
- ・比較して書くことができた。
- ・その絵についてどのような絵なのかうまく伝えられるようにできたから。
- ・光の描き方について具体的に書くことがよくできたと思う。
- ・感じたことを言葉にできた。絵の良さを伝えられた。
- ・しっかりとその絵にいる人物を読み取り、考察をすることができたからよかった。
また、木に遠近法が使われているのを読み取れたからよかった。
- ・下書きが完成した時に、生成AIに見てもらったからいつもよりの変換ミスが少ないところや自分の鑑賞絵の特徴をしっかりと理解することができたことがよくできたと感じています。
- ・絵画の魅力が伝わるように言葉選びを頑張ったところ。
- ・この絵の自然の魅力について具体的に書くことができたこと。また、難しい表現を使わずに読んでいる人が分かりやすくすることができた。

Q3 自分の鑑賞文に足りなかったと思うところはどこですか。

- ・語彙力。
- ・表現力など。
- ・文字数。
- ・誤字、脱字。
- ・漢字を使っていないところがあった。
- ・自分の考えたことをあまり書いていない。
- ・語彙力が足りない。もっと良い別の表現があったと思う。
- ・200字程度に収まらなかった。
- ・表現をもう少しわかりやすく表すことができたと思う。
- ・自分の思っていることを書くとき、表現方法がなく、同じ言葉を使ったりした。
- ・自分の感想が少し少なかったこと。
- ・全体を見た魅力が書ければよかった。
- ・その絵の情景にあまり触れていなかった。
- ・正しい言葉遣いができていなかった。
- ・もう少し自分の文章のまとまりや、多様な表現力が足りていないこと。
- ・様々な視点で絵画を分析すること。
- ・絵画全体の印象や感情を伝える文。

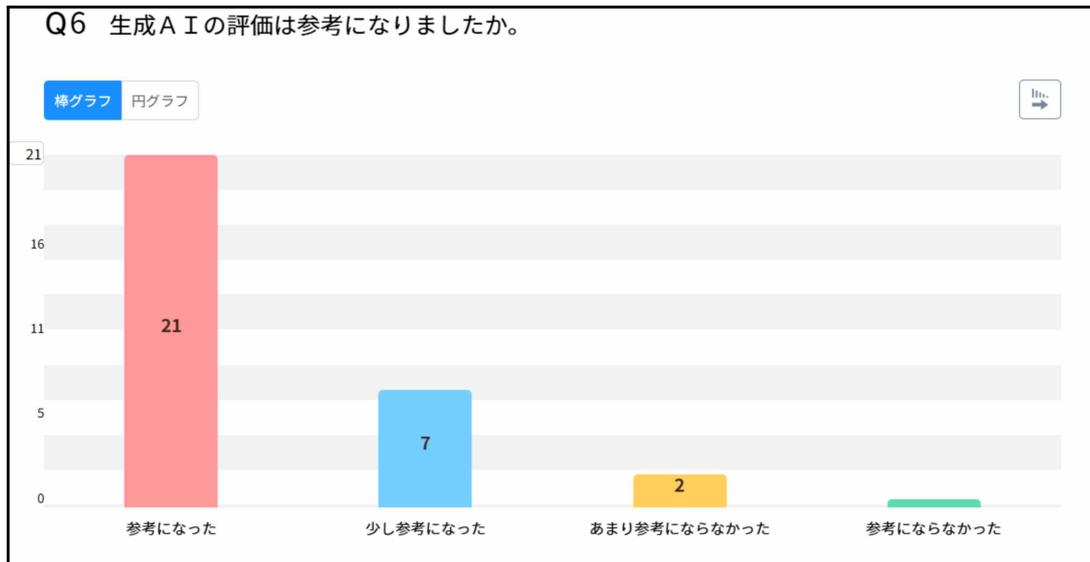
Q4 絵画を分析したり、鑑賞文を書いたりするのに、思考ツールは役に立ちましたか。



Q 5 思考ツールが役に立ったところ、もしくは役に立たなかったところはどのようなところですか。

- ・大まかな内容をとらえられるから鑑賞文が書きやすかったり相手にもすぐ伝えたいことがわかる。
- ・使わなくても十分に書くことができた。
- ・自分が書きたいようにできた。
- ・自分の頭の中にある考えをきれいにまとめることに役に立った。
- ・絵画の魅力をたくさん出すことができた。
- ・書きたいことを整理できた。
- ・絵をいろんな観点で見てたくさんのかんがえられたから。
- ・役に立ったところは文章を書き進めやすかったところ。役に立たなかったことは文章でも同じことを書くから意味なかった気もする。
- ・振り返るときに役立った。
- ・自分の考えを整理することができた。
- ・あまりにもたくさんのかんがえを書くと見えなくなってしまう。
- ・次にかく文章が思いつかないときに役立った
- ・整理をするのには、役に立ったが、下書きを書く時にはほとんど使わなかった。
- ・思考ツールを使うことによって、自分が疑問を思ったときに瞬時にその疑問を解決することができるためいい。
- ・頭を整理することができた。
- ・役に立ったことは、クラゲチャートを使ったこと。このようなシンキングチャートを使えば、鑑賞文なども書きやすくなることが分かった。

Q6 生成AIの評価は参考になりましたか。



Q 7 生成AIの評価で、参考になったところはどこですか。

- ・自分に足りない文章の力を知れたり、どこがいいのかなども教えてくれるので次鑑賞文を書く時の参考になる。
- ・ここがあればもっといいなど。
- ・自分には何が足りないか分かった。
- ・誤字や脱字、表現の仕方について教えてくれた。
- ・表現の工夫。
- ・誤字や表現の誤りについて言ってくれたところ。
- ・言葉の間違いなどを確認できたところ。
- ・誤字脱字がないかというところと文に足りない部分を教えてくれるところ。
- ・何が足りていないのかハッキリ言ってくれて改善するのが楽だった。
- ・同じようなことが書かれていると指摘され、その通りだと思った。
- ・自分の感想をほぼ書いていなかった。
- ・評価がBになっているところのどこがおかしいのかがしっかりと書かれていて、改善点も分かりやすかった。
- ・アドバイスをくれて改善できた。優れている所や不足している所を教えてくれて助かった。
- ・昔よかったと表現したのを昔よかったと正しい表現に直してくれていたことです。

- ・自分の表現力の足りていない事をAIによって自分の悪いところやいいところをもっといい表現の仕方へと変えることができる。
- ・良かった点を具体的に教えてくれたところ。
- ・もっと絵画全体の印象や感情を加えるといいことを教えてくれたところ。
- ・どこを直したらいいかを書かれているから。
- ・自分ではわからない、修正点などを的確に教えてくれたので、清書の見直しのときに参考にしました。

Q 8 生成AIの評価で、参考にならなかったところはどこですか。

- ・ない。
- ・かえってくる文が長すぎるところ。
- ・そう書いてるのに訂正しろと言うところ。
- ・文字数。
- ・ずっと褒めているところ。
- ・字数を増やしたり、減らしたりするところ。
- ・不足している点でアドバイスみたいのがちょっと納得いかなかった。
- ・全部「いいですよ」みたいに評価が甘くて本当に指摘されたところだけで大丈夫なのかなと思った。
- ・同じようなことを復唱してる。
- ・悪かった点をもう少し具体的に教えてほしい。
- ・意味が分からないところがあったので、もう少し具体的に？分かりやすくしてほしい。

Q 9 「ミニ美術館を作ろう」でどのような力を身につけることができましたか。

- ・いろんなものを感じ取ること。
- ・作品を評価する力。
- ・文章を書く力、どうやったら相手にわかりやすく伝えられるかをできるようになった。
- ・表現力など。
- ・文章力。
- ・絵画の魅力を伝えられるようになった。
- ・1つの作品の工夫やこだわりを見つけられ、それを文にすることを身に付けた。
- ・絵画の魅力を伝えることができるようになった。
- ・絵を鑑賞する力。
- ・自分の考えを伝える力。
- ・絵画を鑑賞して、どんな魅力があるのかじっくり考える力が身についたと思う。
- ・自分で絵の魅力を見つけ出してそれを人にうまく伝えることが身についた。後、絵から伝わることを自分なりの言葉で表すことも身についた。
- ・自分の思った絵の魅力を素直に書く力。
- ・考える力がついたと思う。
- ・その絵を相手にどのように伝えられるかと考えられる力。
- ・みんなの書いた文章を読む力と字数制限の中でいかに作品の魅力を伝えられるか考えて書く力が身に付いた。
- ・文章の表現の自由さ。
- ・文章力が身についた。自分が思っていることを言葉で表現するのが難しかった。
- ・自分で絵の魅力を見つけ出しそれを文章にすることで、見つけ出す力や文章力が身についたと思う。
- ・芸術家みたいになれて楽しかった。
- ・絵を紹介するにあたり、正しい表現・言葉遣いを覚えることができたことです。
- ・表現力が磨かれた。
- ・説明する力。
- ・読む人の心に届く文章を考える力。
- ・自分の考えを他者に伝える力。
- ・シンキングチャートを使えば、鑑賞分なども書きやすくなるのが分かった。
- ・自分の感想をまとめる力。
- ・自分の感想を、しっかりと文に表すことと、語彙力が身に付きました。